

JVA REPORT

4

'11 APRIL
NO.145

MAIN REPORTS

●2010年統計調査報告

総売上は2,666億4,800万円、前年比97.3%

～「販売用」は前年を上回り、ブルーレイは立ち上がりの年に

●『JVAショップコンテスト2010』受賞店決定

SCIENCE FICTIONS

LOVE STORY

EDUCATION

ANIMATION

ACTION

KIDS

MUSICAL

CONCERT

HOW-TO

TV SHOW

一般社団法人 **日本映像ソフト協会** 会報



日誌に見る協会の動き	1
一般社団法人への移行について	2
第300、301回定例理事会開催報告	2
2010年統計調査報告	3
『JVA ショップコンテスト 2010』受賞店決定	7
知的財産戦略本部へ意見書を提出	10
違法対策活動	11
不正商品対策協議会	12
リレーエッセイ ⑧⑧	13
月間売上速報(12月、1月、2月)	14

3月11日に発生しました「東北地方太平洋沖地震」により、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

一般社団法人 日本映像ソフト協会

▼日誌に見る協会の動き

【2月】

- 1日 理事会
- 2日 マーケティング委員会
- 3日 BBマルチメディア委員会打合せ
- 7日 配信委員会
BBマルチメディア委員会
- 8日 総合連絡委員会
- 17日 著作権部会
- 18日 業務使用対策委員会

- 22日 統計調査委員会
- 24日 業務部会幹事会
- 25日 ACA企画広報委員会

【3月】

- 1日 理事会
- 2日 マーケティング委員会
- 4日 ACAアジア知的財産権シンポジウム2011(日経ホール)
- 7日 配信委員会

- 8日 2010年統計調査記者発表
総合連絡委員会
東北地区連絡協議会
- 9日 配信委員会
- 17日 著作権部会
- 24日 業務部会幹事会
ACAシンポジウム打合せ
- 28日 ACA定時総会
- 29日 マーケティング委員会

一般社団法人への移行について

当協会は、2011年4月1日付で 「一般社団法人 日本映像ソフト協会」 となりました。

当協会は、公益法人制度改革に対応し昨年12月7日内閣府に対して一般社団法人への移行認可申請をしました。このたび認可を受けたことにより、本年4月1日に法務局へ登記申請をし受理されました。
今後とも、映像ソフト業界の発展に寄与するよう尽力してまいります。

THE BOARD OF DIRECTORS **理事会**

第300、301回定例理事会開催報告

第300回定例理事会は、2月1日(火)午後2時より協会会議室において開催された。議事の要旨は次の通り。

- 第1号議案 理事就任の件…承認
(就任) 高木ジム(ジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメントジャパン(同)職務執行者最高経営責任者兼社長)
- 第2号議案 正会員及び協賛会員退会の件…承認
(退会) 角川映画(株)
(退会) (株)トーハン
- 第3号議案 会員名義変更承認の件…承認
(変更前) (株)アイ信
(変更後) (株)シーエスロジネット
- 第4号議案 2011年度事業計画書(案)承認の件…承認
- 第5号議案 「2011年度音楽著作権管理者養成講座」に対する後援名義使用承認の件…承認
- 第6号議案 「NPO法人 JAVCOM No.131セミナー」に対する後援名義使用承認の件…承認
- 第7号議案 「特定サービス産業動態統計調査」に対する協力依頼の件…承認

その他、事務局からの報告事項は次の通り。
各部会委員会報告について、2011年新年賀詞交歓会開催結果について、2010年11月度、12月度ビデオソフト売上

速報について、DVDハードの国内出荷実績について等。

第301回定例理事会は、3月1日(火)午後2時より協会会議室において開催された。議事の要旨は次の通り。

- 第1号議案 理事就退任の件…承認
(退任) 小野直路
(株)NHKエンタープライズ
(就任) 佐藤寿美
(株)NHKエンタープライズ代表取締役社長)
- 第2号議案 部会長選任の件…承認
業務部会長 佐藤寿美
(株)NHKエンタープライズ 代表取締役社長)
- 第3号議案 2011年度収支予算書(案)承認の件…承認
- 第4号議案 「IMC Tokyo 2011」に対する後援名義使用承認の件…承認
- 第5号議案 「ふきカエルキャンペーン」に対する協力依頼の件…承認

その他、事務局からの報告事項は次の通り。
各部会委員会報告について、2010年統計調査報告書について、2011年1月度ビデオソフト売上速報について、DVDハードの国内出荷実績について等。

総売上は2,665億4,800万円で前年比97.3% 「販売用」は前年を上回り、ブルーレイの立ち上がりの年に

統計調査委員会では、2010年下半期の統計調査を実施し、上半期の結果と併せて2010年の1年間のメーカー出荷の実績をまとめた。本調査結果は「統計調査報告書Vol.71」として発行され、3月8日(火)午前11時から当協会会議室にて記者発表された。また同時に協会ホームページにおいても一部が公表された。以下に本報告の概要を抜粋して報告する。

<2010年調査結果の概要>

1. 2010年のビデオソフトの総売上は2,665億4,800万円で前年比97.3%となった(表1)。

下半期実績では前年同期比100.6%と前年同期並であったが、上半期の前年同期割れ(前年同期比93.6%)が影響した。年間実績では2004年の3,753億9,300万円をピークに6年連続で前年割れが続いているが、08年実績の前年

比が88.9%、09年が95.8%、本年が97.3%であり、徐々に減少率は穏やかなものとなってきている(グラフ3)。

一方、数量においては8,994万6,136枚で前年比102.4%となり、2年連続で前年を上回った。ブルーレイの出荷数量の増加(前年比236.6%)が大いに貢献した。

▼表1.ビデオソフトの売上

摘要	百万円				枚			
	合計金額	回答社数	構成比	前年比	合計数量	回答社数	構成比	前年比
D V D ビデオ	219,290	31/31社	82.3%	88.0%	77,194,473	31/31社	85.8%	94.0%
ブルーレイ	47,191	29/31社	17.7%	195.7%	12,687,382	30/31社	14.1%	236.6%
U M D	67	4/4社	0.0%	15.4%	64,281	13/11社	0.1%	20.2%
ビデオソフトの総売上	266,548	31/31社	100.0%	97.3%	89,946,136	31/31社	100.0%	102.4%

※回答社数の左辺は上半期の回答社数、右辺は下半期の回答社数

▼表2.DVDビデオの流通チャンネル別売上

	百万円						枚		
	DVDビデオの売上金額			DVDビデオの売上数量			数量	構成比	前年比
	金額	構成比	前年比	金額	構成比	前年比			
販売用(個人向)	140,240	64.0%	89.9%	46,901,126	60.8%	93.4%			
レンタル店用(個人向)	78,052	35.6%	84.3%	29,633,311	38.4%	94.0%			
業務用	998	0.5%	145.3%	660,036	0.9%	171.6%			

▼表3.ブルーレイの流通チャンネル別売上

	百万円						枚		
	ブルーレイの売上金額			ブルーレイの売上数量			数量	構成比	前年比
	金額	構成比	前年比	金額	構成比	前年比			
販売用(個人向)	44,780	94.9%	197.6%	11,209,835	88.4%	233.6%			
レンタル店用(個人向)	2,351	5.0%	162.2%	1,461,154	11.5%	261.1%			
業務用	60	0.1%	857.1%	16,393	0.1%	632.7%			

▼表4.UMDの流通チャンネル別売上

	百万円						枚		
	UMDの売上金額			UMDの売上数量			数量	構成比	前年比
	金額	構成比	前年比	金額	構成比	前年比			
販売用(個人向)	67	100.0%	15.4%	64,279	100.0%	20.2%			
レンタル店用(個人向)	0	0.0%	ERR	0	0.0%	ERR			
業務用	0	0.0%	ERR	2	0.0%	40.0%			

▼表5.ビデオソフト全体の流通チャンネル別売上

	百万円						本		
	ビデオソフト全体の売上金額			ビデオソフト全体の売上数量			数量	構成比	前年比
	金額	構成比	前年比	金額	構成比	前年比			
販売用(個人向)	185,087	69.4%	103.4%	58,175,240	64.7%	105.1%			
レンタル店用(個人向)	80,403	30.2%	85.5%	31,094,465	34.6%	96.9%			
業務用	1,058	0.4%	152.4%	676,431	0.8%	174.7%			

本調査報告についての注意点

■調査数字について

1. 本報告は、JVA加盟の正会員社による出荷段階の売上をまとめた統計である。
2. 本年調査から、ビデオカセットを調査の対象外とした。そのため、ビデオソフトの総売上についての前年比の算出の際には、前年のビデオカセットの実績を除いた数値を用いている。
3. 返品分は金額、数量とも調査時点において差し引いている。
4. マイナス計上となった場合、前年比はERR(エラー)とし、構成比はマイナス分を除いて計算している。
5. ブルーレイとDVDのコンボ作品はブルーレイにカウントしている。
6. レンタル店用には通常レンタルのほか、レベニューシェアリング方式によるものも含む。

■回答社数について

1. 金額と数量の回答社数が異なっているのは、売上金額が百万円に満たない場合があるため。
2. またレンタルの場合にはレベニューシェアリング方式を採用している社があるため、収入のあった期と出荷のあった期が必ずしも一致しない場合があるため。

■ジャンルについて

1. 「日本の子供向け(アニメーション)」などにある“子供向け”とは、目安として10歳以下の子供を対象とした作品を指す。

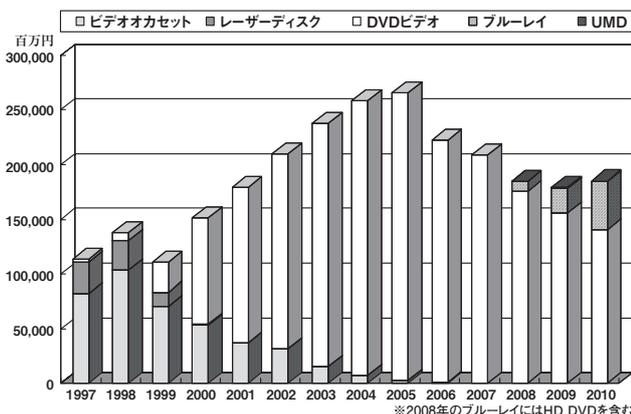
2. ビデオソフトの総売上金額をメディア別に見てみると、DVDビデオが2,192億9,000万円で前年比88.0%（構成比82.3%）と前年を割り込む一方で、ブルーレイが471億9,100万円で前年比195.7%と大きく伸長、構成比も17.7%を占めるなど存在感が増してきており、2010年はブルーレイの立ち上がりの年となったと言えよう。UMDは6,700万円で前年比15.4%（構成比0.0%）となり急激に市場が縮小している（表1）。

3. ビデオソフト全体の売上金額を流通チャネル別に見てみると、「販売用」が1,850億8,700万円で前年比103.4%となり、5年ぶりに前年を上回ることとなった（表5）。「販売用」の全体金額におけるDVDビデオとブルーレイとUMDの割合は75.8：24.2：0.0となり、ブルーレイの割合が4分の1を占めるまでとなった。「販売用」DVDの売上金額の前年比が89.9%であったのに対し、「販売用」ブルーレイは同197.6%と伸長し、ブルーレイの伸長が「販売用」全体の売上金額の増に大きく貢献した（グラフ1）。

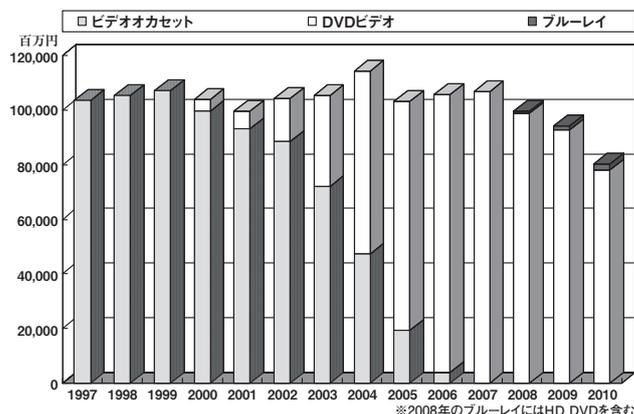
一方、「レンタル店用」は、804億0,300万円で前年比85.5%と大きく落ち込むこととなった。上半期の実績の低下（前年同期比79.2%）が大きく響いた。DVDビデオとブルーレイの割合は97.1：2.9%で、ブルーレイの売上はごくわずかである（グラフ2）。

ビデオソフト全体に占める「販売用」「レンタル店用」「業務用」のチャネル別の売上金額の割合は、69.4：30.2：0.4となった（表5）。

グラフ1.「販売用」売上金額の推移（メディア別）



グラフ2.「レンタル店用」売上金額の推移（メディア別）



▼表6.ビデオソフト全体（DVD+BD+UMD）の流通チャネル別売上金額

ジャンル	販売用	構成比	前年比	レンタル店用	構成比	前年比
邦画（TVドラマを除く）	13,257	7.2%	92.9%	9,890	12.3%	74.1%
日本のTVドラマ	12,484	6.7%	103.0%	6,898	8.6%	103.1%
洋画（TVドラマを除く）	28,534	15.4%	115.1%	20,560	25.6%	92.7%
海外のTVドラマ	5,669	3.1%	68.2%	11,617	14.5%	69.5%
アジアの映画	321	0.2%	10.6%	505	0.6%	55.5%
アジアのTVドラマ	5,878	3.2%	115.2%	7,841	9.8%	86.3%
日本のアニメーション（一般向け）	55,394	29.9%	108.7%	14,115	17.6%	85.8%
海外のアニメーション（一般向け）	4,383	2.4%	170.9%	1,951	2.4%	96.1%
日本の子供向け（アニメーション）	2,333	1.3%	101.4%	3,550	4.4%	104.6%
日本の子供向け（アニメーション以外）	2,537	1.4%	88.7%	1,351	1.7%	102.8%
海外の子供向け（アニメーション）	861	0.5%	64.6%	427	0.5%	85.6%
海外の子供向け（アニメーション以外）	17	0.0%	30.4%	15	0.0%	750.0%
音楽（邦楽）	37,037	20.0%	104.9%	9	0.0%	56.3%
音楽（洋楽）	3,418	1.9%	80.9%	8	0.0%	32.0%
ビデオカラオケ	38	0.0%	122.6%	0	0.0%	ERR
芸能・趣味・教養	10,550	5.7%	114.5%	1,466	1.8%	127.1%
スポーツ	1,014	0.6%	82.3%	16	0.0%	21.6%
学校教育・企業教育・語学教育	264	0.1%	92.6%	19	0.0%	67.9%
成人娯楽	26	0.0%	83.9%	7	0.0%	140.0%
その他	1,072	0.6%	103.7%	158	0.2%	98.1%
計	185,087	100.0%	103.4%	80,403	100.0%	85.5%

4. ビデオソフト全体の「販売用」チャンネルの売上金額は前述のとおり、ブルーレイの売上増が大きく影響し、前年を上回ることとなったが、これをジャンル別に見てみると、構成比1位は29.9%を占める『日本のアニメーション（一般向け）』で前年比は108.7%、2位は『音楽（邦楽）』で構成比20.0%、前年比104.9%、3位は『洋画』で構成比15.4%、前年比115.1%といずれのジャンルも前年を上回った。構成比4位の『邦画』（構成比7.2%）だけ前年比92.9%と前年割れとなったが、5位の『日本のTVドラマ』（同6.7%）も同103.0%、6位の『芸能・趣味・教養』（同5.7%）も同114.5%となるなど、主だったジャンルで前年を上回ることとなった（表6）。

ジャンル毎にブルーレイの売上金額の割合を見てみると、『日本のアニメーション（一般向け）』は46.0%を占めブルーレイの構成比が半分にならなっているが、『音楽（邦楽）』ではDVDビデオのシェアが圧倒的に高く、ブルーレイは4.1%を占めるに過ぎない。『洋画』については38.9%、『邦画』では20.3%をブルーレイが占めている。

5. DVDビデオの「販売用」の売上金額は1,402億4,000万円で、前年比89.9%となった。売上金額をジャンル別に見てみると、『音楽（邦楽）』が25.3%を占め、はじめて『日本のアニメーション（一般向け）』を抜いて構成比1位となり、前年比も102.9%と伸長した。構成比2位は『日本のアニメーション（一般向け）』で21.3%を占めたが前年比は77.1%と落ち込んだ。同ジャンルについては、ブルーレイへの移行が進んでいることによる減少と見られる。3位の『洋画』（構成比12.5%）は前年比99.3%と僅かに前年割れとなったが、数量では同116.2%と1割以上の上昇となった。4位には『日本のTVドラ

マ』で（同8.5%）前年並みの100.3%となったが、『邦画』は前年比80.5%と落ち込み、構成比を5位（同7.5%）に落とした（表7）。

6. DVDビデオの「レンタル店用」売上金額は780億5,200万円で前年比84.3%と大きく落ち込んだ。

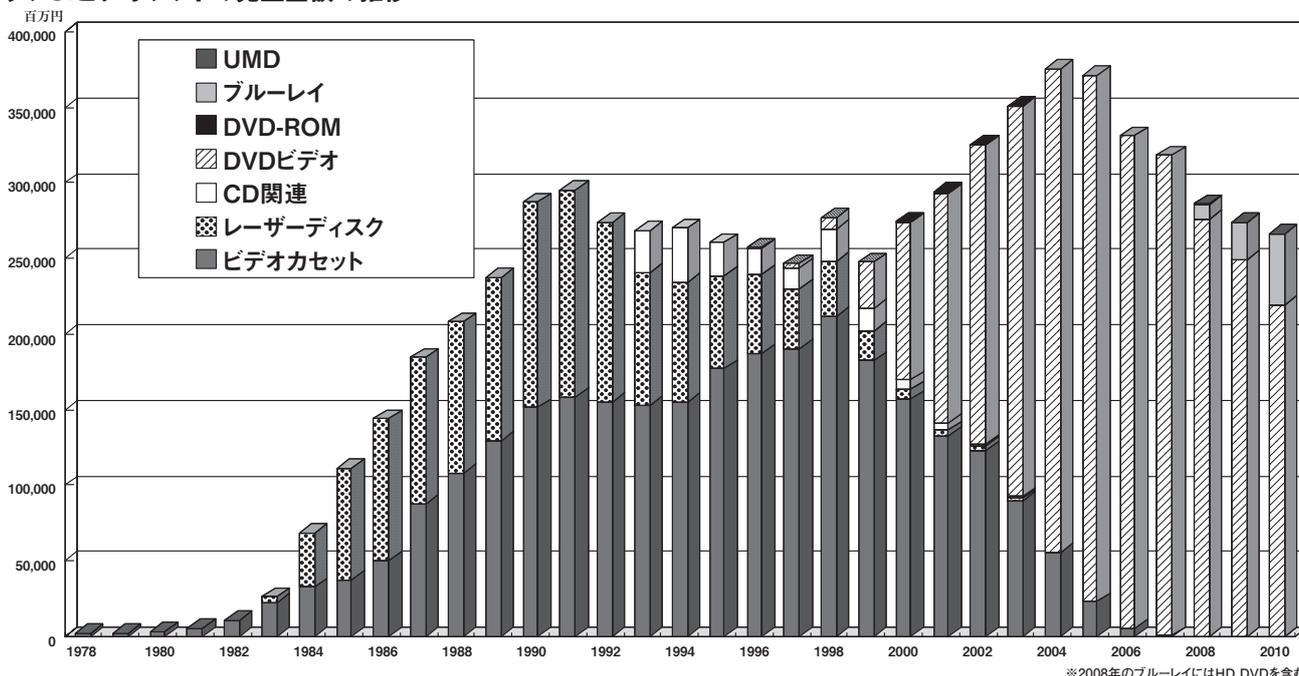
DVDビデオの「レンタル店用」の売上金額をジャンル別に見てみると、売上構成比の1位は『洋画』で23.7%を占めるが前年比は87.2%、2位の『日本のアニメーション（一般向け）』（構成比18.0%）も前年比86.7%、前年好調だった3位（同14.9%）の『海外のTVドラマ』は前年比70.1%と3割の減少、構成比4位（同12.7%）の『邦画』も前年比74.1%となり、主だったジャンルのほとんどが大きく前年を割り込んだ（表7）。

7. ブルーレイの売上金額は471億9,100万円で前年比195.7%と大きく伸長、売上全体の構成比も17.7%に上昇した（表3）。

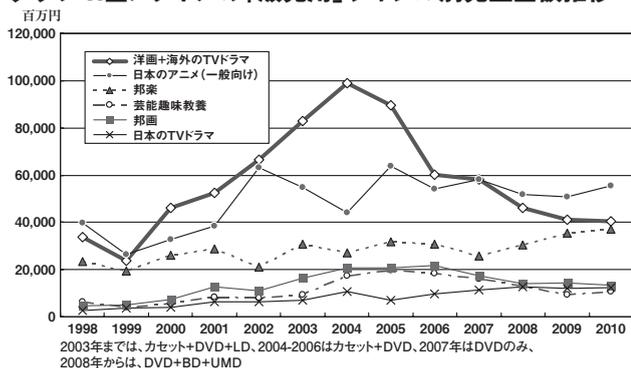
ブルーレイの売上金額のうち94.9%を「販売用」が占め、447億8,000万円（前年比197.6%）となった。「販売用」の売上金額をジャンル別に見てみると、半分以上の56.9%を『日本のアニメーション（一般向け）』が、24.5%を『洋画』が占めた。構成比3位は『邦画』だが、構成比は6.0%と非常に小さく、相変わらず、『日本のアニメーション（一般向け）』と『洋画』が2大ジャンルとなっている（表8）。

一方、「レンタル店用」は23億5,100万円でブルーレイ売上全体の5.0%にとどまっておき、売上金額のジャンル別を見ても『洋画』が88.8%を占めるなど偏りが見られ、いまだ市場の確立には至っていない（表8）。

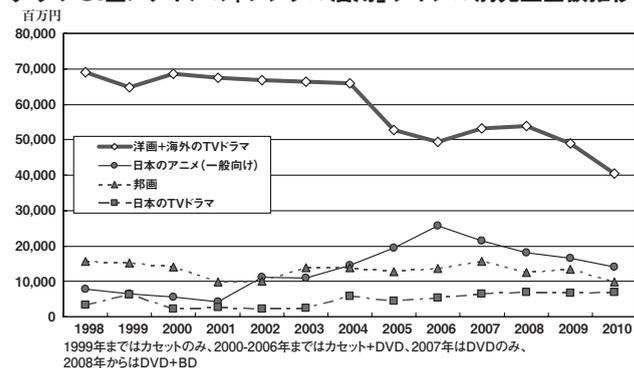
グラフ3.ビデオソフトの売上金額の推移



グラフ4.全メディアの「販売用」ジャンル別売上金額推移



グラフ5.全メディアの「レンタル店用」ジャンル別売上金額推移



▼表7.DVDビデオの売上

ジャンル	合計金額	構成比	前年比	販売用	構成比	前年比	レンタル店用	構成比	前年比
邦画(TVドラマを除く)	20,646	9.4%	77.7%	10,569	7.5%	80.5%	9,870	12.7%	74.1%
日本のTVドラマ	18,878	8.6%	101.2%	11,976	8.5%	100.3%	6,892	8.8%	103.0%
洋画(TVドラマを除く)	36,100	16.5%	92.7%	17,566	12.5%	99.3%	18,473	23.7%	87.2%
海外のTVドラマ	16,865	7.7%	68.4%	5,239	3.7%	65.1%	11,607	14.9%	70.1%
アジアの映画	768	0.4%	22.4%	263	0.2%	10.5%	504	0.7%	55.4%
アジアのTVドラマ	13,568	6.2%	95.7%	5,751	4.1%	112.9%	7,816	10.0%	86.0%
日本のアニメーション(一般向け)	44,351	20.2%	80.0%	29,842	21.3%	77.1%	14,066	18.0%	86.7%
海外のアニメーション(一般向け)	3,951	1.8%	94.5%	2,103	1.5%	96.6%	1,809	2.3%	91.5%
日本の子供向け(アニメーション)	5,916	2.7%	103.2%	2,311	1.7%	100.7%	3,550	4.6%	104.6%
日本の子供向け(アニメーション以外)	3,883	1.8%	93.7%	2,535	1.8%	89.4%	1,351	1.7%	102.8%
海外の子供向け(アニメーション)	1,264	0.6%	69.5%	835	0.6%	63.4%	418	0.5%	83.8%
海外の子供向け(アニメーション以外)	32	0.0%	55.2%	17	0.0%	30.4%	15	0.0%	750.0%
音楽(邦楽)	35,548	16.2%	102.7%	35,500	25.3%	102.9%	8	0.0%	50.0%
音楽(洋楽)	3,251	1.5%	79.4%	3,243	2.3%	79.7%	7	0.0%	28.0%
ビデオカラオケ	44	0.0%	125.7%	38	0.0%	122.6%	0	0.0%	ERR
芸能・趣味・教養	11,660	5.3%	116.5%	10,149	7.2%	113.4%	1,466	1.9%	127.1%
スポーツ	991	0.5%	75.8%	975	0.7%	79.1%	16	0.0%	21.6%
学校教育・企業教育・語学教育	331	0.2%	95.7%	264	0.2%	92.6%	19	0.0%	67.9%
成人娯楽	33	0.0%	78.6%	26	0.0%	83.9%	7	0.0%	140.0%
その他	1,210	0.6%	116.8%	1,038	0.7%	100.4%	158	0.2%	98.1%
計	219,290	100.0%	88.0%	140,240	100.0%	89.9%	78,052	100.0%	84.3%

▼表8.ブルーレイの売上

ジャンル	合計金額	構成比	前年比	販売用	構成比	前年比	レンタル店用	構成比	前年比
邦画(TVドラマを除く)	2,709	5.7%	231.5%	2,688	6.0%	235.4%	20	0.9%	71.4%
日本のTVドラマ	510	1.1%	301.8%	504	1.1%	298.2%	6	0.3%	ERR
洋画(TVドラマを除く)	13,068	27.7%	163.1%	10,981	24.5%	156.2%	2,087	88.8%	212.5%
海外のTVドラマ	440	0.9%	109.2%	430	1.0%	167.3%	10	0.4%	6.8%
アジアの映画	59	0.1%	11.3%	58	0.1%	11.1%	1	0.0%	ERR
アジアのTVドラマ	152	0.3%	1520.0%	127	0.3%	1270.0%	25	1.1%	ERR
日本のアニメーション(一般向け)	25,583	54.2%	210.9%	25,478	56.9%	214.4%	49	2.1%	20.5%
海外のアニメーション(一般向け)	2,422	5.1%	551.7%	2,280	5.1%	592.2%	142	6.0%	263.0%
日本の子供向け(アニメーション)	22	0.1%	440.0%	22	0.1%	440.0%	0	0.0%	ERR
日本の子供向け(アニメーション以外)	2	0.0%	8.3%	2	0.0%	8.3%	0	0.0%	ERR
海外の子供向け(アニメーション)	35	0.1%	700.0%	26	0.1%	520.0%	9	0.4%	ERR
海外の子供向け(アニメーション以外)	0	0.0%	ERR	0	0.0%	ERR	0	0.0%	ERR
音楽(邦楽)	1,541	3.3%	191.9%	1,537	3.4%	191.9%	1	0.0%	ERR
音楽(洋楽)	176	0.4%	110.7%	175	0.4%	110.1%	1	0.0%	ERR
ビデオカラオケ	0	0.0%	ERR	0	0.0%	ERR	0	0.0%	ERR
芸能・趣味・教養	401	0.9%	151.9%	401	0.9%	151.9%	0	0.0%	ERR
スポーツ	39	0.1%	ERR	39	0.1%	ERR	0	0.0%	ERR
学校教育・企業教育・語学教育	0	0.0%	ERR	0	0.0%	ERR	0	0.0%	ERR
成人娯楽	0	0.0%	ERR	0	0.0%	ERR	0	0.0%	ERR
その他	32	0.1%	ERR	32	0.1%	ERR	0	0.0%	ERR
計	47,191	100.0%	195.7%	44,780	100.0%	197.6%	2,351	100.0%	162.2%

『JVAショップコンテスト2010』受賞店決定!

昨年の秋実施したレンタル推進全国共同キャンペーン『JVAショップコンテスト2010』の受賞店が決定し、3月29日に協会ホームページを通じて発表した。同キャンペーンはビデオレンタルの活性化を目的としており、今回で15回目となるもの。当初、受賞された全店を東京に招き、3月29日に表彰式を行う予定だったが、11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」の影響により開催を中止している。

●『JVAショップコンテスト2010』開催概要

主催: (社) 日本映像ソフト協会及び参加メーカー15社

参加メーカー: アミューズソフトエンタテインメント(株)、ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)、エイベックス・エンタテインメント(株)、(株)エスピーオー、角川映画(株)、松竹(株)、(株)ソニー・ピクチャーズエンタテインメント、東映ビデオ(株)・東映(株)、東宝(株)、20世紀フォックスホームエンターテイメントジャパン(株)、(株)バップ、パラマウントジャパン(株)、バンダイビジュアル(株)、(株)ポニーキャニオン、ワーナーエンターテイメントジャパン(株)

協賛: 日本コンパクトディスク・ビデオレンタル商業組合 (CDV-J)

実施期間: 2010年10月1日～11月30日

応募内容: コーナー展開部門、コメント部門、ディスプレイ部門の3部門を設け、様々な企画の実行例、工夫などについてのレポートを所定の応募用紙に添付し応募。

応募数: 374店

表彰: 最優秀大賞 (グランプリ) 1店・・・表彰楯と20万円分のギフト券

ディスプレイ部門最優秀賞1店・・・表彰楯と7万円分のギフト券

コメント部門最優秀賞1店・・・表彰楯と7万円分のギフト券

コーナー展開部門最優秀賞1店・・・表彰楯と7万円分のギフト券

CDV-J特別賞3店・・・表彰楯と5万円分のギフト券

ディスプレイ部門優秀賞28店・・・表彰楯と1万円分のギフト券

コメント部門優秀賞11店・・・表彰楯と1万円分のギフト券

コーナー展開部門優秀賞25店・・・表彰楯と1万円分のギフト券

最優秀大賞(グランプリ)

★ TSUTAYA 安芸府中店

韓国作品コーナーを一年をかけてリニューアルした結果をご応募いただいたもので、単に韓国風のディスプレイを行うのではなく、利用者の声を取り入れて作品の配置を変えたり、何話完結かを分かりやすくするなど、利用しやすくするという視点が随所に表れたコーナー作りがなされていることが評価されての受賞となった。この利用者に伝えるという姿勢は、応募方法からもうかがえ、コンテストの審査員へも強力にアピールした。



▼応募用紙に添えられた店舗のジオラマ



ディスプレイ部門最優秀賞



★ **BOOKS あんとく山麿店**

什器をうまく利用して城壁や城門をディスプレイしている。特に、手作りの武器と城門はアクセントとして効果を発揮しているばかりでなく、店舗内でも異彩を放ちながらも三国志の壮大な世界を再現している。また、手作りのコメントボードを掲示するなど、作品の魅力を伝える細やかな努力もうかがえることが評価されての受賞となった。

コメント部門最優秀賞

★ **じゅげむ下松店**

ほぼ全ての作品にコメントを付ける取組みは、作品を選ぶ上でコメントを読み比べるという楽しみも提供している。その一方で、長編の韓国ドラマではシリーズ間の関係が分かるような大きな時代背景や人間関係を分かりやすく表示するなどが評価されての受賞となった。



コーナー展開部門最優秀賞



★ **メディアジャングル志布志店**

「バベットの晩餐会」など料理そのものが主役となるような映画も多いが、通常の映画の中でも印象的な料理や食事シーンは多い。今回の応募の中にも料理という視点からコーナー作りをした作品がいくつか見られたが、映画を彩った料理をまとめた「シネマ食堂」という書籍と組合せて、映画に登場した料理のレシピをDVDジャケットと同じ大きさで並べてしまうという斬新さが評価されての受賞となった。

CDV-J特別賞

★ **レンタルビデオポパイ中山店**



★ **ファミリーBOOK笠懸店**



★ **チャーリーブラウン沖浜店**



『JVA ショップコンテスト2010』受賞店

賞	賞品	店舗名	所在地		
最優秀大賞(グランプリ)	表彰楯と20万円分のギフト券	TSUTAYA安芸府中店	広島県安芸郡		
ディスプレイ部門最優秀賞	表彰楯と7万円分のギフト券	BOOKSあんとく山鹿店	熊本県山鹿市		
コメント部門最優秀賞	表彰楯と7万円分のギフト券	じゅげむ下松店	山口県下松市		
コーナー展開部門最優秀賞	表彰楯と7万円分のギフト券	メディアジャングル志布志店	鹿児島県志布志市		
CDV-J特別賞	表彰楯と5万円分のギフト券	レンタルビデオポパイ中山店	広島県広島市		
		ファミリーBOOK 笠懸店	群馬県みどり市		
		チャーリーブラウン沖浜店	徳島県徳島市		
ディスプレイ部門優秀賞	表彰楯と1万円分のギフト券	アリオン浜乃木店	島根県松江市		
		アリオン学園店	島根県松江市		
		アルファー鹿屋店	鹿児島県鹿屋市		
		岩瀬書店富久山店プラスゲオ	福島県郡山市		
		ギャップ明津店	神奈川県川崎市		
		さくら書店 羽屋店	大分県杵築市		
		Superラックス榎原店	奈良県榎原市		
		チャーリーブラウン沖浜店	徳島県徳島市		
		TSUTAYA倉吉店	鳥取県倉吉市		
		TSUTAYA篠山店	兵庫県篠山市		
		TSUTAYAつくば学園店	茨城県つくば市		
		TSUTAYA鶴ヶ峰駅前店	神奈川県横浜市		
		TSUTAYA三木店	兵庫県三木市		
		DAYS摂津富田店	大阪府高槻市		
		DVD CD COMIC RENTAL MUSASHINO	東京都八王子市		
		明屋書店厚狭店	山口県山陽小野田市		
		明屋書店小郡店	山口県山口市		
		ビデオアメリカ筑後店	福岡県筑後市		
		フタバ図書GIGA宇品店	広島県広島市		
		フタバ図書GIGA呉駅レクレ店	広島県呉市		
		フタバ図書GIGA福岡春日店	福岡県春日市		
		フタバ図書アルティアルパーク北棟店	広島県広島市		
		フタバ図書ソフトピア海田店	広島県安芸郡		
		USV小田井店	愛知県名古屋市中区		
		USV姫路南店	兵庫県姫路市		
		よむよむ坂戸入西店	埼玉県坂戸市		
		遊ING浜町店	長崎県長崎市		
ロムハウス大口店	神奈川県横浜市				
コメント部門優秀賞	表彰楯と1万円分のギフト券	ゲオ札幌星置店	北海道札幌市		
		TIME CLIP 安中店	群馬県安中市		
		TIME CLIP 秩父黒谷店	埼玉県秩父市		
		チャーリーブラウン末広店	徳島県徳島市		
		TSUTAYA江戸川中央店	東京都江戸川区		
		フタバ図書GIGA福大前店	福岡県福岡市		
		文真堂書店 小桑原店	群馬県館林市		
		文真堂書店 榛名町店	群馬県高崎市		
		ミドリ太子店MOVE+	兵庫県揖保郡		
		遊ING畷刈店	長崎県長崎市		
		リパティビーブル鳥山西友前店	東京都世田谷区		
		コーナー展開部門優秀賞	表彰楯と1万円分のギフト券	アイドル佐世保日野店	長崎県佐世保市
				アリオン塩冶店	島根県出雲市
アリオン浜乃木店	島根県松江市				
アリオン皆生店	鳥取県米子市				
KC	石川県加賀市				
サンタナ大川店	福岡県大川市				
じゅげむ御幸店	広島県福山市				
TIME CLIP 安中店	群馬県安中市				
TIME CLIP 秩父黒谷店	埼玉県秩父市				
チャーリーブラウン沖浜店	徳島県徳島市				
チャーリーブラウン末広店	徳島県徳島市				
TSUTAYA江戸川中央店	東京都江戸川区				
TSUTAYA新丸子店	神奈川県川崎市				
TSUTAYA長浦店	千葉県袖ヶ浦市				
ドラマめじろ台店	東京都八王子市				
ビデオぎんこう	三重県松阪市				
ビデオワールド西調布店	東京都調布市				
ファミリーBOOK 赤堀店	群馬県伊勢崎市				
ファミリーBOOK 笠懸店	群馬県みどり市				
ファレノ藤沢店	神奈川県藤沢市				
ボックス豊後 三重店	三重県豊後大野市				
ボックス豊後にさき店	大分県国東市				
フリーダム岸和田店	大阪府岸和田市				
V-PARK JAM 津山店	岡山県津山市				
よむよむクレッセ甲西店	山梨県南アルプス市				

※ 複数の賞を受賞している店舗もあります。

知的財産戦略本部へ意見書を提出

知的財産戦略本部は、平成23年1月17日から2月7日まで「知的財産推進計画2011」策定に向けた意見募集を行った。

この意見募集に対し、当協会は2月7日に後掲の意見を提出した。

意見募集の結果は、知的財産推進本部のホームページ(*1)に掲載されているが、同本部では「コンテンツ強化専門調査会」と「知的財産による競争力強化・国際標準化専門調査会」において「知的財産推進計画2011」策定に向けた検討が行われているところである。

(*1) 「知的財産推進計画2011」の策定に向けた意見募集の結果について

http://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/ikenbosyu/2011keikaku/bosyu_kekka.html

●当協会提出意見

《要旨》

戦略2に関し、CJマーク事業への支援継続、ACTAの早期締結・加盟国拡大及び著作権の個別権利制限規定の見直し、プロバイダによる侵害対策措置の実施を促す仕組みの導入及びコンテンツ制作に対する税制面等での支援を要望いたします。

《全文》

1. 戦略2：1. (1) について (CJマーク事業について)

「知的財産推進計画2010」11頁では、「(1) コンテンツの海外展開を支援し、海外に流通拠点を築く。」との項目がありますが、その実現のために、CJマーク事業への支援継続を要望いたします。

映像コンテンツに関しては、海賊版や動画投稿サイトなどでの違法配信の横行がアジア輸出の障害となっており、日本の著作権者等は、コンテンツ海外流通促進機構内のCJマーク委員会が中心となりアジア地域における日本コンテンツの著作権侵害に対して、具体的な権利行使を実施(CJマーク事業)し、成果を挙げています。

しかしながら、日本コンテンツの海賊版を一掃するには未だ途半ばであり、CJマーク事業の継続の必要がありますので、日本政府からの支援継続を要望いたします。

2. 戦略2：3. (4) について (ACTAについて)

「知的財産推進計画2010」20頁34では、「ACTA交渉の妥結及び妥結後の加盟国拡大」の項目がありますが、引き続き実施することを要望いたします。

わが国の映像コンテンツの著作権が海外において侵害

されている状況は、当該地域での正規コンテンツの市場形成の大きな障害となります。著作権侵害のない適正な国際市場形成は、公正な市場競争の前提をなすものです。適正な国際市場のルール構築のため、ACTAの早期締結をお願いいたします。

3. 戦略2：3. (4) について (個別権利制限規定の見直しについて)

「知的財産推進計画2010」22頁では、「著作権制度上の課題の総合的な検討」を掲げていますが、現行著作権法の個別権利制限規定には、英米独仏等の諸外国より大きな個別権利制限規定がありますので、その正当性の再吟味の必要があると考えます。

非営利・無料ならば、常に著作物の通常の利用を妨げず、著作権者の正当な利益を害さないといえるか疑問ですが、著作権法38条1項はそれだけで上映権を制限しています。例えばドイツ著作権法52条3項は「(3) 著作物を公衆に上演し、公衆提供し、又は放送すること、及び映画の著作物を公衆に上映することは、常に権限を有する者の同意を得た場合にかぎり許される。」(本山雅弘訳「外国著作権法令集(37)―ドイツ編―」(2007年 著作権情報センター)として)していますので、わが国の上映権制限は広範すぎると思われます。著作権法38条1項から「上映」の文言を削除する等の見直しを要望いたします。

また、著作権法30条1項柱書は、私的使用目的であることと使用する者が複製することの2要件のみで複製権を制限しています。同条には、1項1号から3号に該当する場合の権利制限規定の適用除外と同条2項の複製権制限の代償措置が定められていますが、これらの規定を考慮しても、諸外国よりも大きな権利制限となっています。

とりわけ、DVDビデオの総合的な複製防止技術であるCSSを回避して複製する行為を著作権法30条が許容していると解されている現状は速やかに是正されるべきだと考えます。複製防止技術であるにも係わらず暗号型技術は視聴制御技術として著作権法上の技術的保護手段ではないとされる状況は「著作権侵害防止技術の開発支援」(「知的財産推進計画2010」21頁の39)の阻害要因にもなりかねません。

「知的財産推進計画2010」21頁では、「アクセスコントロール回避規定の強化」について「具体的制度改革案を2010年度中にまとめる。」としていますが、昨年来、関係各省庁でご検討が進められました著作権法、不正競争防止法及び関税法の改革案の速やかな実現を要望いたします。

4. 戦略2：3. (4) プロバイダによる侵害対策措置の促進について

著作権者は、日々無許諾でアップロードされたコンテンツをプロバイダに削除要請していますが、削除してもすぐにアップロードされる「いちごっこ」が続いています。このような状況の解決のため、プロバイダによる侵害対策措置の実施を促す仕組みの導入等、抜本的解決の仕組みの導入を早急に検討していただくことを要望いたします。

5. 戦略2：コンテンツ強化を核とした成長戦略の推進のための税制面等での支援について

核となる優れたコンテンツの創出のためにも、コンテンツ制作に対する税制面等での支援を至急検討していただくよう要望いたします。

「知的財産推進計画2010」参考資料20頁には「世界各国の映像コンテンツ制作へのインセンティブの例」が掲載されています。これを拝見いたしますと、欧米や韓国では様々な支援策がとられています。最近の韓国のコンテンツの優勢をみても、このような支援策がコンテンツ強化に有効なのではないかと思われます。わが国でもこのような支援策の検討が有用だと考えます。

以上

違法対策活動

ANTI-PIRACY

全国の警察でファイル共有ソフトを利用した著作権法違反の一斉取締りを実施

北海道警、宮城県警、秋田県警、茨城県警、栃木県警、埼玉県警、千葉県警、警視庁、神奈川県警、富山県警、福井県警、山梨県警、愛知県警、京都府警、兵庫県警、島根県警、岡山県警、愛媛県警、高知県警、佐賀県警、宮崎県警、鹿児島県警、沖縄県警の23都道府県警察は、ファイル共有ソフトを通じた映画、音楽、アニメ、ゲーム、ビジネスソフトなどの著作権法違反事件について、2011年1月11日から14日までの間に集中一斉取締りを実施し、全国で50箇所を捜索、18人を逮捕（1月14日現在）した。JVAはそのうち5道県における検挙に協力し、8件の告訴状がそれぞれ受理されている。なお、ファイル共有ソフトを利用した著作権法違反の一斉取締りは今回が2回目、2009年11月30日に行われた1回目の一斉取締りでは、全国で26箇所を捜索、11人が逮捕され、それぞれに有罪判決が言い渡されている。

また、ビデオレンタル店に関する違法対策活動としては、1月から3月の間、東京都、栃木県、福岡県、高知県、京都府、奈良県、長野県、茨城県、香川県、愛知県の245店の調査、折衝を行った。調査結果は、廃業等の133店を除き実質的に営業していた112店のうち、セル用商品のレンタル転用が27件の違法行為が確認された。違法行為の確認率は24%だった。

2011年1月～3月実績

調査店	245店
営業店数	112店
違法行為 確認件数	海賊版所持 0件 セル用商品のレンタル転用 27件
海賊版確認数	0枚
刑事告訴事件数	0件
警察による海賊版押収本数	0枚
違法行為確認率	24%

調査状況一覧表

調査地区	内 訳			海賊版・サンプル頒布所持			セルDVDの レンタル転用
	許諾店	無許諾	廃業等	許諾店	確認数	回収数	
東京都		2					2
栃木県	5		10				
福岡県	21	3	31				11
高知県	17		21				2
京都府	15		7				2
奈良県	10	2	13				6
長野県	12		7				
茨城県	16		12				3
香川県	3		5				
愛知県	6		27				1
合計	105	7	133	0	0	0	27

アジア知的財産権シンポジウム2011 「エンターテインメントビジネスの飛躍」開催報告

不正商品対策協議会（ACA）は2011年3月4日（金）、日経ホール（千代田区大手町）にて、12回目となる「アジア知的財産権シンポジウム」を開催した（共催：日本経済新聞社 後援：知的財産戦略本部・警察庁・総務省・外務省・財務省・文化庁・経済産業省）。

同シンポジウムは、メインテーマを「エンターテインメントビジネスの飛躍」とし、過去開催のアンチパイラシー対策中心の企画から、次のステップに向けた知的財産権ビジネスのあり方に焦点を当てた企画となった。当日は、企業の知財担当者をはじめ、広く一般からの聴衆約500名を集めた（参加費無料）。

今回もシンポジウム会場の一角では、偽ブランド品・海賊版・偽キャラクターグッズなどを多数展示するコーナーが設けられ、実物の不正商品に熱心に見入る聴講者の姿が見られた。

＜開催内容および出演者／敬称略＞

挨拶：世取山茂 警察庁生活安全局生活経済対策管理官

レポート1

「日本におけるファイル共有ソフトを悪用した著作権侵害への対策～ファイル共有ソフトを悪用した著作権侵害対策協議会（C I F F）の活動報告」

桑子博行 C I F F 会長（テレコムサービス協会サービス倫理委員会委員長）

久保田裕 C I F F 会長代理（コンピュータソフトウェア

著作権協会（A C C S）専務理事）

レポート2

「わが国のコンテンツビジネスの展望」

信谷和重 経済産業省商務情報政策局メディア・コンテンツ課長

聞き手 前田哲男 弁護士／ACA監事

レポート3

●特別セミナー

「『モンハン』成功の方程式 ～ゲーム業界の展望～」

辻本憲三 カプコン会長（A C C S 理事長）

●キーノートスピーチ

テーマ「AKB48は、なぜ、売れたのか？」

秋元康 作詞家・プロデューサー

●パネルディスカッション

テーマ「エンターテインメントビジネスの飛躍」

秋元康 作詞家・プロデューサー

荒井昭博 フジテレビジョン 編成制作局担当局長兼編成開発部長

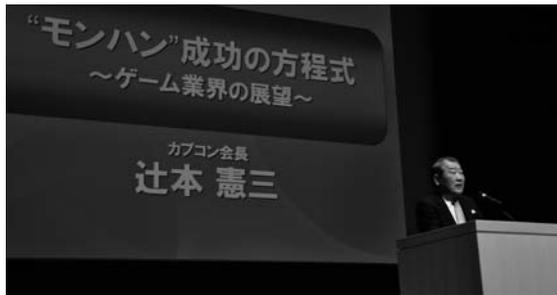
品田英雄 日経B P 社「日経エンタテインメント！」

元編集長

モデレーター 遠山友寛 弁護士／ACA監事

なお、このシンポジウムの模様は、例年通り日本経済新聞で4月に特集記事として掲載される予定。

▼特別セミナー 辻本憲三氏（カプコン会長）



▼ホンモノ・ニセモノ展示に見入る来場者たち



◀パネルディスカッション



ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)ディズニースタジオホームエンターテイメント
リテールセールスエグゼクティブディレクター 山内康祐氏からのご紹介

●鈴木 信隆 氏(株)アニプレックス 営業グループ本部長)

『ディズニー・グッズ・コレクション』

アニプレックスの鈴木です。ディズニーの山内さんからのバトンタッチに敬意を表して私はディズニー・グッズ・コレクション事始について書かせて頂きます。

1970年代の終わりからディズニー・グッズ・コレクションを始めましたので既に30年以上のキャリアになります。実は元々ディズニーは全く興味が無い分野でした。事の初めは1979年の5月の連休にクラシック音楽を聴く旅行で初めてアメリカに行った時の事です。この時はグループ・バック旅行で行きましたが、最初に西海岸2都市、最後にニューヨークを訪ねそれぞれの街でコンサートを聴く旅行でした。当時は公共交通機関がよくストライキをされていて(毎春交通ゼネストがあり出社できないので専門業者に布団を借りて会社に泊まる事がニュースで報じられていた時代です)、出発は4月末の連休直前でしたが、乗る予定の日本航空機がストで欠航になる事が濃厚になり、旅行会社の配慮でストを避けるために予定より1日早く出発しました。そのためにロサンゼルスに一日余計に滞在できる事になり、予定していなかったディズニーランド観光に行った事がコレクションの始まりでした。東京ディズニーランドの開園が1983年ですからその4年前の事です。

前述のように全く興味が無かったものの、妹に折角ロスアンゼルスに行くのだからディズニーランドに行ってミッキーマウスの腕時計を買ってきて欲しいと頼まれました。そこで已む無く行ったと言うのが本当の所です。その時初めてディズニーランドを体験しました。最初に乗ったアトラクションはカリブの海賊でしたが、ディズニーランドなんて子供だましの遊園地くらいの認識でいた自分としては楽しいアトラクションばかりで、これは凄い遊園地だぞと思った事を覚えています。頼まれたミッキー50周年の記念腕時計を買ったものの、帰国後調べたところ記念時計では無い事が判明し妹に怒られました。最終目的地のニューヨークではニューヨーク近代美術館(MOMA)に行った際に、ミュージアムショップで黄色い可愛いミッキーマウスのポスターを見つけて買いました。前年1978年がミッキー生誕50年でその記念展覧会

をMOMAで開催し、幸運にもその公式ポスターが売れ残っていて、これが私のコレクション第一号になりました。

東京ディズニーランドが出来るまではお金を貯めては、LAのディズニーランド、フロリダのディズニーワールドに行くなど、高価でない記念グッズをせっせと買い集めました。

1995年にTBSで放送された「ディズニー・グッズ王選手権」に出場した時は、2位になりましたが、この選手権は4回戦のトーナメントで、出場者がエントリーしたグッズを3人の審査員がどちらが“凄い”で判定するトーナメントでした。決勝まで進出し“表紙にミッキーマウスが描かれているアメリカの写真雑誌 LIFE”を出した時には審査委員長であった、おもちゃコレクターの北原照久さんでも持っていないくらい羨ましがられた覚えがあります。この雑誌は額装して今でも自宅の玄関に飾ってあります。

「ディズニー・グッズ王選手権」に出場するまでは、自分のコレクションは、“そこそこ”のレベルと思っていましたが、その番組で知り合った方たちには凄い方たちが沢山いて、優勝した人は、2000万円かけて集めたコレクションが一度に火事で燃えてしまったものの、その後も懲りずに集めている人でした。その他にも、新築する際に自宅を小型のシンデレラ城にしてしまった人、自宅の出窓に月替わりでコレクションのディスプレイをしていたら、お店と間違えて他人が入ってきてしまった人など自分より“遥かに凄い”コレクターが世の中にいる事を知りました。旅行で出会ったアメリカ人でその腕に大きなミッキーの入れ墨をした人など、いろいろな方と知り合いになり、コレクターの奥の深さを痛感しています。

今まで集めたコレクションは多分数千点はあると思いますが、その中で一番の物は何ですかと良く聞かれます。「ディズニー・グッズ王選手権」の一回戦では、長男の光希(ミッキー)、次男の織人(ウォルト)の二人の名前のインパクトで勝利しました。なにはともあれ、この二人が一番のコレクション(宝物)ですね。

それでは次に松竹の水野さん宜しくお願いします。

統計

2010年12月度

(金額：百万円 数量：千枚)

	12月実績								売上金額の増減社数	1月～12月の累計							
	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	新作数	前年同月比		金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	新作数	前年同月比
販売用	20,748	74.4%	106.5%	6,876	67.9%	108.8%	588	73.5%	増減 19社 12社 その他 0社	140,924	64.0%	89.8%	46,905	60.9%	93.0%	6,354	83.6%
レンタル店用	7,072	25.3%	86.1%	3,202	31.6%	106.2%	716	120.9%		78,304	35.5%	84.5%	29,416	38.2%	92.9%	6,396	89.5%
業務用	79	0.3%	91.9%	52	0.5%	120.5%	9	900.0%		1,040	0.5%	138.9%	682	0.9%	170.4%	89	83.2%
DVDビデオ	27,899	78.6%	100.4%	10,130	81.5%	108.0%	1,313	94.3%	増減 15社 7社 5社	220,268	82.3%	88.0%	77,002	85.8%	93.3%	12,839	86.4%
販売用	7,171	94.6%	176.8%	2,123	92.2%	210.6%	205	146.4%		44,894	94.9%	197.7%	11,171	88.4%	230.6%	1,641	155.8%
レンタル店用	406	5.4%	359.3%	177	7.7%	337.1%	70	368.4%		2,356	5.0%	164.2%	1,443	11.4%	254.4%	404	159.1%
業務用	5	0.1%	500.0%	3	0.1%	782.5%	0	ERR	60	0.1%	857.1%	16	0.1%	632.4%	0	ERR	
ブルーレイ	7,582	21.4%	181.8%	2,303	18.5%	217.0%	275	173.0%	増減 1社 1社 その他 1社	47,310	17.7%	195.9%	12,631	14.1%	233.3%	2,045	156.5%
UMD	-19	ERR	ERR	-13	ERR	ERR	1	4.2%		68	0.0%	15.7%	64	0.1%	19.4%	64	57.7%
合計	35,462	100.0%	110.8%	12,420	100.0%	118.5%	1,589	100.8%		267,646	100.0%	97.4%	89,698	100.0%	101.7%	14,948	91.9%

◎今月の売上報告社数……31社(*前年同月の報告社数32社) 無回答社……2社 ◎売上金額の増減社数……前年同月との比較。その他とは増減なし、または前年同月の報告がない場合
◎DVDビデオおよびブルーレイの新作数の「業務用」には不明分を含む。また「レベニューシェアリング」用の作品数は新作数の合計値から除いている。
◎2010年調査よりビデオカセットを調査対象外とした。そのためビデオカセットの合計値の前年同月比、前年同月比の算出には、当該期のビデオカセットの実績を除いた数値を用いている。
◎累計値には、1月～6月の数値として、2010年上半期調査による数値(統計報告書Vol.70)を用いている。

※累計数字は1～12月の速報値の累計のため、2010年の統計報告(Vol.71)の確定値と誤差が生じている点に注意

2011年1月度

(金額：百万円 数量：千枚)

	1月実績								売上金額の増減社数	1月～1月の累計							
	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	新作数	前年同月比		金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	新作数	前年同月比
販売用	12,138	66.2%	113.7%	3,918	65.2%	95.9%	509	110.2%	増減 16社 12社 その他 2社	12,138	66.2%	113.7%	3,918	65.2%	95.9%	509	110.2%
レンタル店用	6,085	33.2%	112.6%	2,063	34.3%	110.0%	565	130.8%		6,085	33.2%	112.6%	2,063	34.3%	110.0%	565	130.8%
業務用	113	0.6%	209.3%	29	0.5%	94.0%	1	33.3%		113	0.6%	209.3%	29	0.5%	94.0%	1	33.3%
DVDビデオ	18,336	80.3%	113.6%	6,011	87.3%	100.3%	1,075	119.8%	増減 21社 3社 4社	18,336	80.3%	113.6%	6,011	87.3%	100.3%	1,075	119.8%
販売用	4,294	95.6%	153.7%	796	91.0%	105.8%	90	98.9%		4,294	95.6%	153.7%	796	91.0%	105.8%	90	98.9%
レンタル店用	194	4.3%	431.1%	77	8.9%	464.3%	67	1340.0%		194	4.3%	431.1%	77	8.9%	464.3%	67	1340.0%
業務用	4	0.1%	400.0%	1	0.1%	272.3%	0	ERR	4	0.1%	400.0%	1	0.1%	272.3%	0	ERR	
ブルーレイ	4,492	19.7%	158.2%	874	12.7%	113.6%	157	163.5%	増減 1社 1社 その他 0社	4,492	19.7%	158.2%	874	12.7%	113.6%	157	163.5%
UMD	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	1.9%	0	0.0%		0	0.0%	0.0%	0	0.0%	1.9%	0	0.0%
合計	22,828	100.0%	120.2%	6,885	100.0%	101.6%	1,232	122.7%		22,828	100.0%	120.2%	6,885	100.0%	101.6%	1,232	122.7%

◎今月の売上報告社数……31社(*前年同月の報告社数31社) 無回答社……2社
◎売上金額の増減社数……前年同月との比較。その他とは増減なし、または前年同月の報告がない場合
◎DVDビデオおよびブルーレイの新作数の「業務用」には不明分を含む。また「レベニューシェアリング」用の作品数は新作数の合計値から除いている。

2011年2月度

(金額：百万円 数量：千枚)

	2月実績								売上金額の増減社数	1月～2月の累計							
	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	新作数	前年同月比		金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同月比	新作数	前年同月比
販売用	8,433	55.5%	98.7%	2,935	53.1%	106.6%	405	74.0%	増減 15社 16社 0社	20,571	61.3%	107.0%	6,853	59.4%	100.2%	914	90.6%
レンタル店用	6,682	43.9%	119.7%	2,562	46.4%	125.8%	494	92.5%		12,767	38.1%	116.2%	4,626	40.1%	118.2%	1,059	109.6%
業務用	91	0.6%	119.7%	27	0.5%	33.5%	0	0.0%		204	0.6%	156.9%	56	0.5%	50.0%	1	20.0%
DVDビデオ	15,206	82.9%	107.0%	5,525	86.2%	113.4%	899	83.0%	増減 15社 12社 3社	33,542	81.5%	110.5%	11,535	86.8%	106.2%	1,974	99.7%
販売用	2,874	92.0%	153.9%	651	73.9%	152.2%	107	100.0%		7,168	94.1%	153.8%	1,447	82.4%	122.6%	197	99.5%
レンタル店用	247	7.9%	796.8%	228	25.9%	2096.5%	44	733.3%		441	5.8%	580.3%	305	17.4%	1108.8%	111	1009.1%
業務用	3	0.1%	300.0%	2	0.2%	834.9%	0	ERR	7	0.1%	350.0%	3	0.2%	499.2%	0	ERR	
ブルーレイ	3,124	17.0%	164.5%	880	13.7%	200.7%	151	133.6%	増減 0社 1社 その他 0社	7,616	18.5%	160.7%	1,755	13.2%	145.3%	308	147.4%
UMD	2	0.0%	22.2%	2	0.0%	23.9%	0	0.0%		2	0.0%	7.4%	2	0.0%	8.5%	0	0.0%
合計	18,332	100.0%	113.8%	6,407	100.0%	120.5%	1,050	86.7%		41,160	100.0%	117.2%	13,292	100.0%	109.9%	2,282	103.0%

◎今月の売上報告社数……31社(*前年同月の報告社数31社) 無回答社……1社
◎売上金額の増減社数……前年同月との比較。その他とは増減なし、または前年同月の報告がない場合
◎DVDビデオおよびブルーレイの新作数の「業務用」には不明分を含む。また「レベニューシェアリング」用の作品数は新作数の合計値から除いている。

一般社団法人 日本映像ソフト協会

会員社名(五十音順) 2011年4月1日現在

■ 正会員 (32 社)

(株)アニプレックス
アミューズソフトエンタテインメント(株)
ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)
エイベックス・マーケティング(株)
(株)エスピーオー
(株)NHK エンタープライズ
(株)角川書店
ギャガ(株)
キングレコード(株)
ジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメントジャパン(同)
(株)小学館
(株)ショウゲート
松竹(株)
(株)ソニー・ピクチャーズエンタテインメント
(株)ソニー・ミュージックエンタテインメント
(株)第一興商
TCエンタテインメント(株)
東映ビデオ(株)
東宝(株)
東宝東和(株)
(株)東北新社
20世紀フォックス
ホームエンターテイメントジャパン(株)
日活(株)
(株)バップ
(株)ハピネット
パラマウント ジャパン(株)
バンダイビジュアル(株)
ビクターエンタテインメント(株)
(株)ポニーキャニオン
(株)メディアファクトリー
ユニバーサルミュージック(同)
ワーナーエンターテイメントジャパン(株)

■ 協賛会員 (21 社)

(株)一丸堂印刷所
(株)IMAGICA
(株)キュー・テック
(株)金羊社
(株)ケンメディア
カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)
(株)シーエスロジネット
(株)ジャパン・ディストリビューション
システム
(株)星光堂
ソニー PCL (株)
大日本印刷(株)
(株)東京現像所
東芝デジタルフロンティア(株)
(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ
東洋レコーディング(株)
日本出版販売(株)
日本レコードセンター(株)
ビクタークリエイティブメディア(株)
(株)富士フイルムメディアクレスト
(株)ムービーマネジメントカンパニー
メモリーテック(株)